

学校だより



きらめく子ら

標茶町立中茶安別小中学校 No. 9 令和7年12月24日発行

小さな成長 大きな喜び

校長 柏 尾 和 市

まもなく2025年（令和7年）が終わろうとしています。今年を振り返ると、能登半島地震からまもなく2年が経ち、復興への取り組みが続く中、阪神大震災から30年の節目を迎えました。また、熊による被害が全国で多発し、大きな社会問題となっている一方で、日本万国博覧会（大阪）や世界陸上大会（東京）が開かれたり、イチロー氏が米野球殿堂入りを果たしたり、坂口氏と北川氏がノーベル賞をダブル受賞したことなど、日本中を沸かせてくれる出来事もたくさんありました。

北海道では、2月に帯広で降雪量 124cm を観測し記録的大雪になったことや釧路湿原周辺でのメガリーラー設置問題に係る環境保護と再エネ開発の分かれ目、過疎化・人口構造の課題、社会保障や地域支援の見直しなど、単発的な話題と言うより、近い将来を左右する長期的なテーマの転換点となつた2025年だと感じました。

そして、標茶町に目を移すと、私は4月に標茶町民となり、それからの感覚になりますが、まず、絶滅危惧種（キタサンショウウオ）の保全などのために、AOAO（札幌の水族館）と包括連携協定の締結。このことで標茶町の知名度や教育・観光アップの可能性が高くなると思いました。また、産業まつりにも参加させていただき、お話を伺うと50年以上も続く名物まつりということで、たくさんの人々の賑わいがとっても印象的でした。もう一つは、地域おこし協力隊の募集や町民講座の開催をしていることで、これは息の長い持続的なまちをつくるための重要な取り組みだと感じています。

さて、本校においては、春・夏・秋の学校林活動、運動会、学校キャンプ、学校祭、PTAそば打ち研修、もちつき大会など実施時期は違いますが、どれも楽しかった思い出が昨日のように目に浮かびます。子どもたちの日々の学びの中にも、数えきれないほどの「小さな成長」がありました。新しい漢字を一つ覚えたこと、計算問題を自力で解けたこと、友達に「ありがとう」と言えたこと、苦手な運動にも挑戦して最後までやり遂げたこと…。その一つひとつは小さな出来事かもしれません、その積み重ねこそが子どもたちの近い将来への大きな力となるはずです。

時には失敗したり、うまくいかずに涙したり、友達との関係などに悩んだりした時も、子どもたちは少しずつ自分の気持ちを整理し、前へ進む方法を学んできました。失敗を恐れず挑戦する姿勢や互いに尊重し合う心は成長の証です。

保護者の皆様にとっても、日常の中で見える子どもたちの小さな変化は、大きな喜びにつながっていると思いますし、朝、自分から挨拶できること、宿題に自ら取り組んだこと、家族の一員として役割を果たそうとする姿勢。その一つひとつが、子どもたちの自信となり、ご家庭の温かさをさらに深めているのではないでしょうか。

新しい年を迎えるにあたり、子どもたちはまた次の挑戦へと踏み出します。そのときに必要となるのは、これまで積み重ねてきた小さな成長の力です。私たち大人も、子どもたちが安心して挑戦できる環境を整え、失敗を恐れずに前へ進めるよう支えていくことが大切だと思っています。

これからも学校と家庭が手を携え、子どもたちの小さな成長を大切にしながら、大きな喜びを分かち合える一年にしていきたいと思っています。

～2026年（令和8年）もどうぞよろしくお願ひいたします～

家庭や地域との連携を深め、知・徳・体をバランスよくはぐくむ

■ 1月行事予定 ■

日	曜	行事予定	給食	部活
1	木	冬⑧ 元日 年始休日 学校閉庁日		
2	金	冬⑨ 年始休日 学校閉庁日		
3	土	冬⑩ 年始休日 学校閉庁日		
4	日	冬⑪ 週休日		
5	月	冬⑫		
6	火	冬⑬		
7	水	冬⑭		
8	木	冬⑮		
9	金	冬⑯		
10	土	冬⑰ 週休日		
11	日	冬⑱ 週休日 標茶町 20 歳のつどい		
12	月	冬⑲ 成人の日		
13	火	冬⑳ [小3・4]学級レク		
14	水	冬㉑		
15	木	3学期始業式 願書等発送準備	○	×
16	金	図書館バス 英語検定③	○	×
17	土	週休日		
18	日	週休日		
19	月	ALT [小]スケート教室① [中3]学年末テスト① 願書等発送	○	×
20	火	学校便り発行 [中3]学年末テスト② 選挙管理委員会⑤	○	×
21	水	午前授業 冬の運動会	○	×
22	木	[小]フッ化物洗口 選挙リハ 公立高校出願受付〆切	○	×
23	金	特別時程 [小1・2]読み聞かせ 前期児童生徒会役員選挙 町民憲章推進書道展（～2/8）	○	×
24	土	週休日		
25	日	週休日 標茶町アイスストッカーフェスティバル		
26	月	全校総会（伍会式） ALT 生活リズム調査③（～2/2） 公立高校出願状況登録表	○	×
27	火	[小]スケート教室② 図書館バス 出願変更受付開始	○	×
28	水	午前授業 冬の運動会予備日 個人調査書点検	○	×
29	木	[小]フッ化物洗口 保育園児学校訪問 出願変更状況中間発表	○	×
30	金	[小]スケート教室③ 標茶町いじめ根絶子ども会議 委員会 個人調査書（推薦）発送	○	×
31	土	週休日 標茶町スケート大会		

※予定が変更になる場合もあります。各学年の時間割にてご確認ください。

学校ホームページ 隨時更新中

日常の学校の様子は、トップページのフォトアルバムからご覧いただけます。検索サイトで「中茶安別小中学校」と検索するか、右記QRコードよりアクセスしてご覧ください。



児童生徒表彰

11月25日（火）、標茶町児童生徒表彰式が行われ、本校から小学5年生の木並 澄瞳さん（努力賞）、中学2年生の長濱 斗夢さん（奉仕賞）の2名が受賞しました。

式では、佐藤町長より直接賞状が手渡され、日頃からの努力を惜しまない姿勢や、学校・地域に貢献する態度が高く評価されました。受賞者代表として長濱さんが挨拶を述べ、感謝の気持ちと今後の抱負を力強く語ってくれました。

今回の受賞は、日々の積み重ねが実を結んだものであり、学校としても大変誇らしく感じています。木並さん、長濱さんは、これからも仲間の手本として、ますます活躍してくれることを期待しています。



参観日

12月2日（火）は、今年度3回目の授業参観日でした。小学校では、夏の学校林活動で集めた松ぼっくりなどを使って、思い思いのかわいいオーナメントやフォトフレームを作っていました。今年も、釧路湿原森林ふれあいセンターと標茶森林事務所の方にご協力いただきました。

中学校では、一人一人が今まで行ってきた調べ学習の内容をスライドにまとめて発表していました。今年のテーマは「地域の魅力再発見～未来創造プロジェクト～」で、地域の特色や良さを生かした地域活性化プランを考えました。

今回もたくさんの保護者の皆様に来ていただきました。本当にありがとうございました。



絆メッセージ&健全育成標語

子供たちから出たキーワードをもとに児童生徒会で作成した「絆づくりメッセージ」が、管内コンクールで入賞しました。

*奨励賞

「見てみよう 人には色んな 光がある」

また、標茶町青少年健全育成推進連絡協議会の標語コンクールでは、小学4年生の藤原琥哲さん、5年生の加藤晴翔さんの作品が優秀作品に選ばれました。

*あいさつ・声かけ部門

・加藤晴翔 「あいさつは 毎日したい おくりもの」

*非行防止部門

・藤原琥哲 「悪口は 人の心を きずつける」

これらの受賞は、各ご家庭が言葉を大切にし、地域全体が温かい言葉であふれている証拠だと思います。本当におめでとうございます。

PTA研修「そば打ち体験」

12月7日（日）、保護者、児童生徒等総勢36名が参加し、PTA研修会を行いました。今年度は、中標津手打ちそば「ささ藪学校」の皆様を講師にお迎えし、「そば打ち体験」を行いました。

講師の方からは、そば粉の扱い方やこね方、伸ばし方など、そばづくりの基本を丁寧に教えていただき、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。生地が少しずつまとまり、細く均一に切れるようになっていくと、会場からは「なるほど」「おもしろい！」などの声が上がり、和やかな雰囲気に包まれました。

出来上がったそばはその場で茹でて味わい、打ちたてならではの香りと食感を楽しむことができました。参加した保護者からは「貴重な体験だった」「家でも挑戦してみたい」といった感想も寄せられています。

ご指導いただいた講師の皆様、そして企画・準備に携わっていただいたPTA生活指導部会の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、学校と家庭が協力しながら、よりよい教育活動を進めてまいります。



第42回もちつき大会

12月12日（金）、本校体育館にて「第42回もちつき大会」が行われました。地域の伝統行事として長く続いてきたこの取り組みは、異学年で協力し合いながら作業を進めることを通して、責任感や協働する力を育てています。

当日は、保護者やコミュニティ・スクールの皆様にも多数ご参加いただき、臼や杵の準備からもちつきの指導、調理などで協力していただきました。前半は中学生や小学校高学年、後半は小学校低・中学年が中心となり、力強く杵を振り下ろし、一生懸命もちをつきました。つきあがった餅は、きなこ、磯部、雑煮、おしるこなど、さまざまな味付けておいしくいただきました。

「もっとやりたい！」「自分で上手につけた！」と、子どもたちからは満足そうな表情がたくさん見られました。また、保護者の方々からも「地域ならではの体験」「子どもたちが協力し合う姿が見られてよかった」といった声をいただき、温かい雰囲気の中で行事を終えることができました。

このように、学校・家庭・地域の皆様に支えられながら子どもたちの学びが育まれていることに、改めて感謝申し上げます。今後も、地域の文化や伝統にふれる活動を続け、子どもたちの成長につなげてまいります。

